



伝統を引き継ぐ



みよし・^{みよし}三吉小PTA

三吉小のPTAは、役員、実行委員を中心に、行事や奉仕活動に取り組んでいます。PTA主催の学校行事「学校祭」では、毎年5年生が田植え、稲刈りを体験し、育てているもち米で餅つき大会を開催しています。地主さんや稲作講師さんへの挨拶、児童の田植え、稲刈りの補助もPTAが行います。特に学校祭当日の餅つき大会は大忙しです。体育館にきねと石臼を配置し、蒸しあげたもち米を臼に運んで、児童にも餅つきを体験させます。



学校祭の餅つき大会。ある程度お父さんがついてから、児童がつきます。



PTAは後ろから苗を児童に渡しますが、児童は一生懸命植えています。

稲刈りを児童と一緒にに行います。刈り取ったら、コンバインへ。



マテバシイせんべいを作っていると、児童がのぞきにくることも。

餅のつき手、返し手の確保には苦労しますが、立候補してくださる親御さんもいて、助かっています。ついた餅は児童や保護者、地域のかたにふるまい、学校中で収穫を祝っています。

また本校の伝統である「マテバシイせんべいづくり」もPTAの毎年の活動です。校庭には、開校当時に110本のマテバシイの木が植えられました。秋になると児童が実を拾い、教職員がひいて粉にします。その粉と小麦粉、砂糖、地域のかたからいただいた牛乳、卵を使って、PTAが何日もかけてせんべいを焼き、学校祭で児童や地域のかたに配り、喜んでもらっています。

せんべいの大きさ、薄さを均一にして焼きあげるのは大変です。でも、子どもたちや地域のかたが毎年楽しみにしているので17,000枚以上も焼きあげています。

DATA 所在地 ●みよし市三好町半野木1の27 児童数 ●392人 周辺環境 ●みよし市の南西部に位置する。周辺には自動車関連の工場や店舗も多いが田畑もあり、特産物であるナシやカキ、ブドウを作っている農家もある。毎朝交通指導ボランティアが交差点に立ったり、児童と学校まで歩いたり、地域の人に温かく見守られている。